

# 慢性期医療におけるリスクマネジメント

療養型(医療・介護)リスクマネジメントの考え方





# リスクマネジメントの考え方

## 高齢者介護にもリスクマネジメント



以前から高齢者の転倒などの事故は起きていたが・・・  
「病院（介護施設）にお世話になっている」という意識  
大きなトラブルへと発展することは無かった時代

**現在**

**「キチンと介護していたのか」**  
**「何かミスがあったのではないか」**  
訴訟や損害賠償などを求められるケースが急増





## 「新型インフルエンザ」「O157」「ノロウイルス」など・・・

- ・ 病院「（医療療養・介護療養）病棟・介護施設等」集団感染や死亡者がでると大きく報道される
- ・ 初期対応の遅れ、書類整備の整備、行政への決められた連絡等の対応が不十分被害が拡大した場合、厳しく指摘される

介護保険制度の発足により、  
「保険料やお金を払って介護を購入している」という意識に変化

一部暴走する家族のクレームも大きなリスクとなっている

その波は、確実に高齢者介護業界に押し寄せてきている





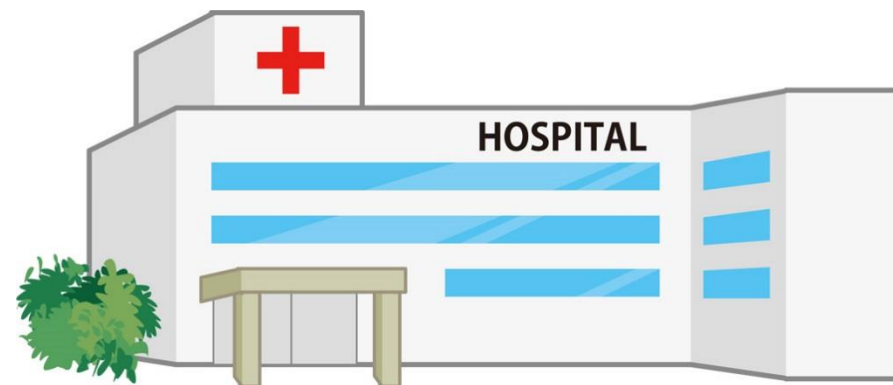
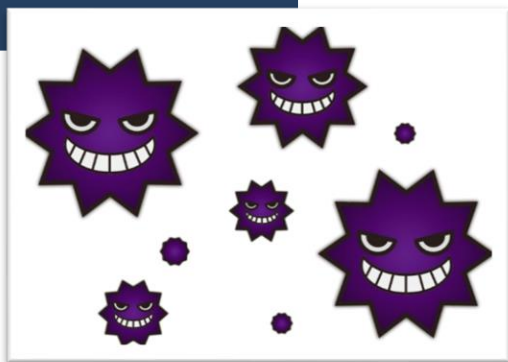
**事業者のサービス提供責任が明確になった**

**サービス利用者やその家族の権利意識が強くなった**

「転倒・骨折」

「インフルエンザの流行」

「家族からの苦情」



**事業者としてのリスクは、格段に拡大**

これまでと同じ認識、方法では、事業やスタッフを守ることはできない



# 「安心・安全」

## 高齢者をリスクマネジメント

高齢者介護の「**安心・安全**」を守る  
病院の信用を高めるためにも、運営上必須

## 高齢者介護のリスクマネジメントとは・・・

リスクを把握  
組織的に管理  
事故を未然に防ぐことを目的とした活動



**リスクマネジメントに取り組むことで職員を守ることにも繋がる**



職員や組織がリスクを意識した活動を行うと、  
患者様に、より安全で質の高いサービスを提供することができるようになる